

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第10週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (10週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,863人(定点当たり39.7)で、前週比104%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は401人(6.9)で、前週比110%と増加した。高千穂(15.5)、小林(10.5)、日南(9.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約6割を占めた。

【インフルエンザ】

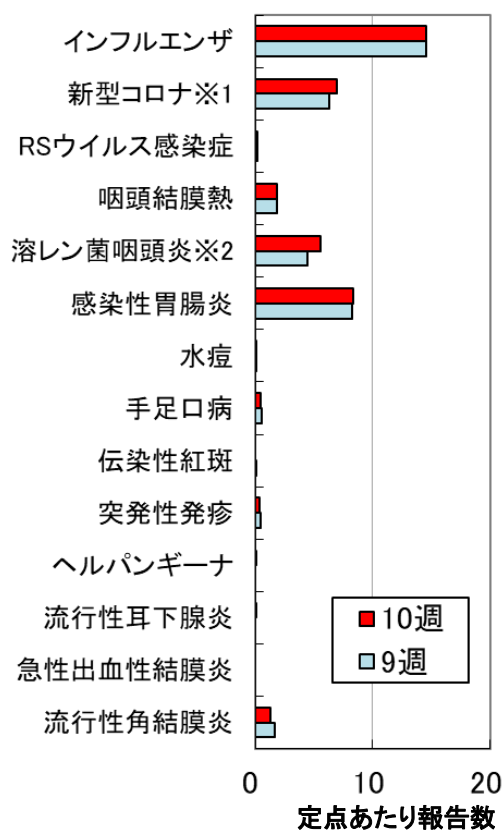
報告数は845人(14.6)で、前週比100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(3.1)の約4.8倍であった。延岡(29.4)、中央(23.5)、高鍋(20.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約9割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は200人(5.6)で、前週比125%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.9)の約2.9倍であった。延岡(9.0)、宮崎市(7.3)、都城(6.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は4歳から6歳が全体の約4割を占めた。

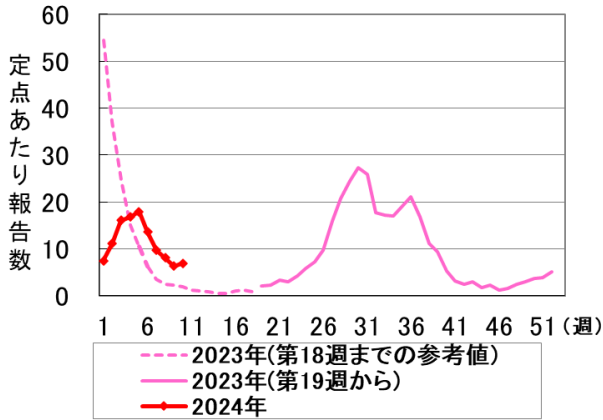
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

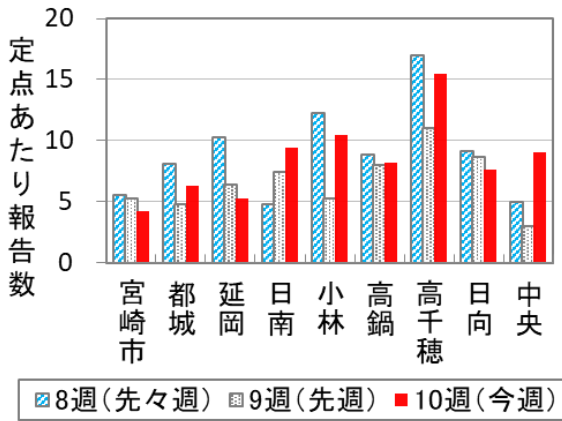


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

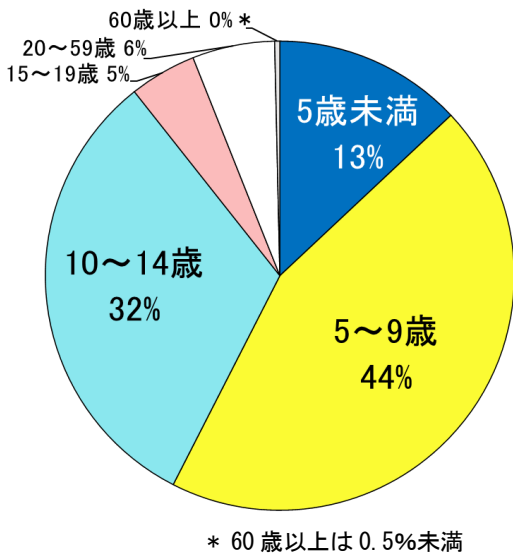
新型コロナウイルス感染症 発生状況



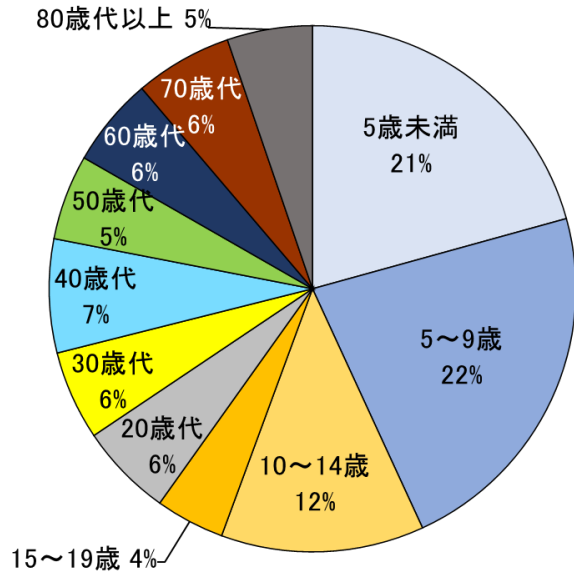
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ年齢群別グラフ(第10週)

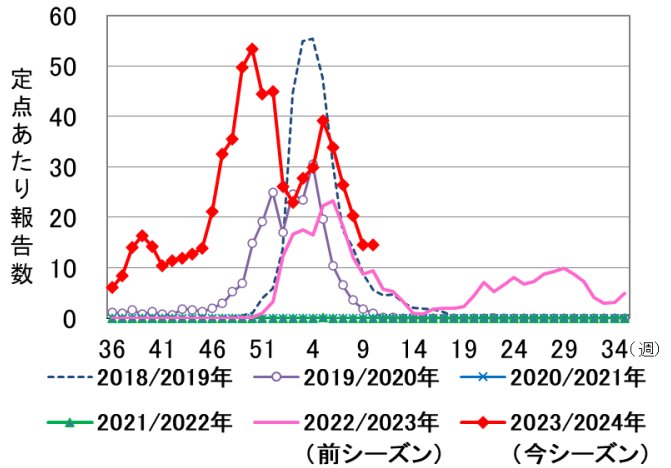


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第10週)

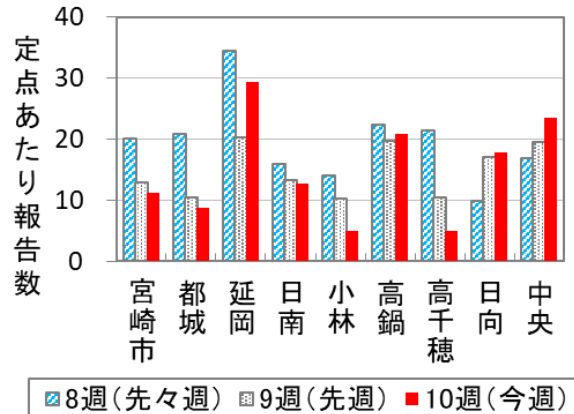


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

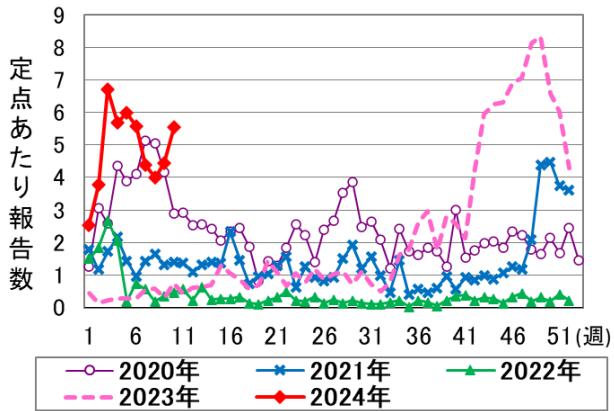
インフルエンザ 発生状況



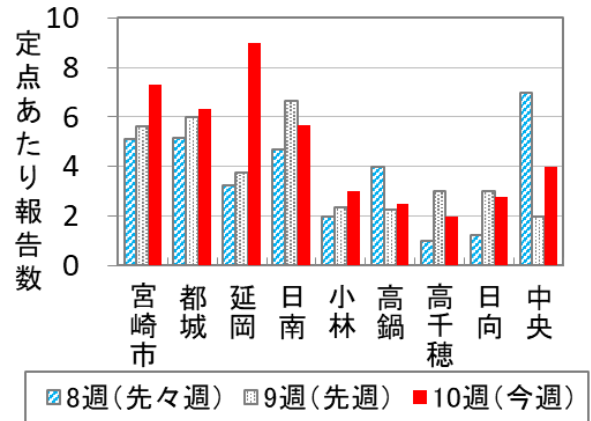
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(11.2)
都城	なし
延岡	インフルエンザ(29.4)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)
日南	インフルエンザ(12.8)、咽頭結膜熱(5.7)、 感染性胃腸炎(20.0)
小林	なし
高鍋	インフルエンザ(20.8)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(17.8)
中央	インフルエンザ(23.5)、咽頭結膜熱(4.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

🇯🇵 全国 2024 年第 9 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	258 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	26 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	2 例	エムボックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	1 例
	レジオネラ症	25 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	27 例
	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	33 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	26 例	水痘(入院例)	13 例
	梅毒	201 例	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	12 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 91%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザと新型コロナウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 68,883 人(14.0)で前週比 83%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.4)の約 3.2 倍であった。北海道(27.4)、石川県(24.9)、山形県(20.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 34,488 人(7.0)で前週比 88%と減少した。宮城県(13.2)、新潟県(12.9)、山形県(12.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2024年2月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は42人(3.2)で、前月比102%とほぼ横ばいであった。また、昨年2月(2.1)の約1.6倍であった。

《疾患別》

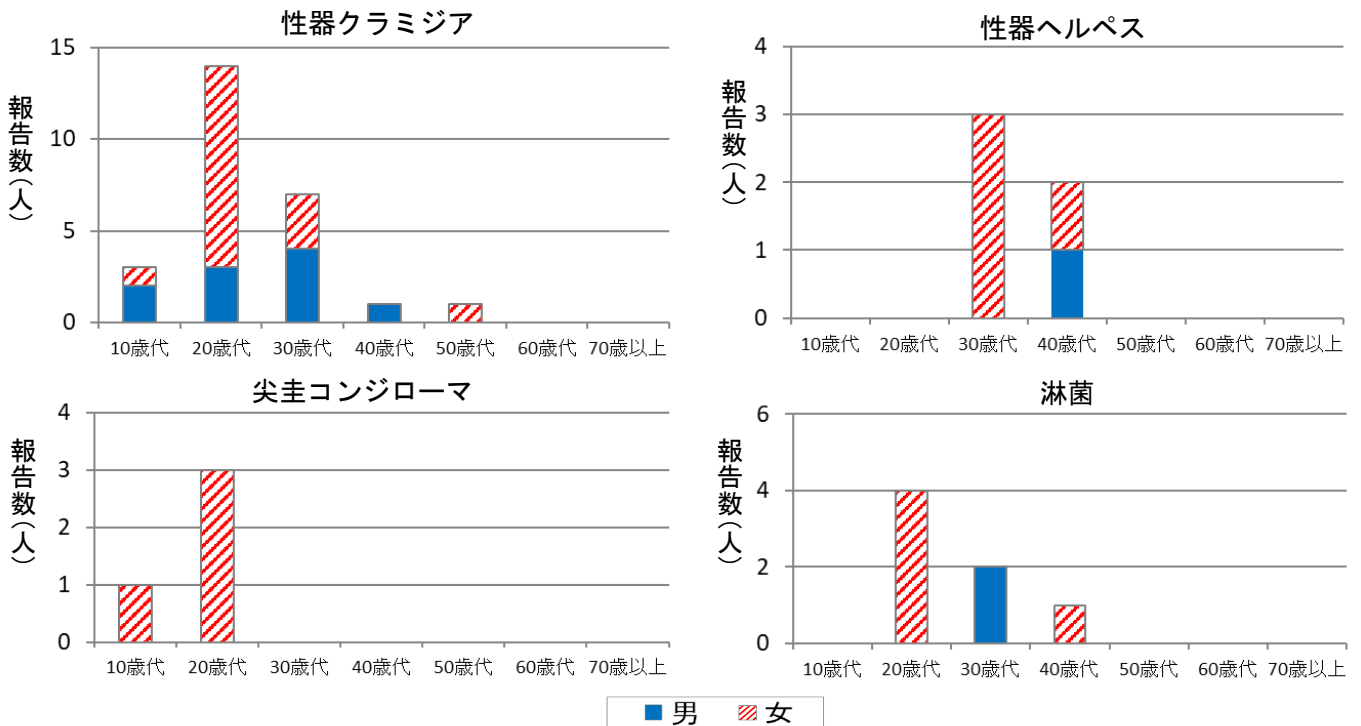
○性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月と同率、昨年2月の約1.7倍であった。

20歳代から30歳代が全体の約8割を占めた。(男性10人・女性16人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約0.6倍、昨年2月の約0.7倍であった。(男性1人・女性4人)

○尖圭コンジローマ：報告数4人(0.31)で、前月と同率、昨年2月の4.0倍であった。(女性4人)

○淋菌感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約2.3倍、昨年2月の約1.8倍であった。(男性2人・女性5人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,323人(4.4)で、前月比93%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,346人(2.4)で前月比93%、性器ヘルペスウイルス感染症743人(0.76)で前月比92%、尖圭コンジローマ487人(0.50)で前月比98%、淋菌感染症747人(0.76)で前月比87%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月比78%と減少した。また、昨年2月(3.4)の約0.8倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月及び昨年2月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)であった。(前月及び昨年2月報告なし)

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,406人(2.9)で、前月比99%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,325人(2.8)で前月比100%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症74人(0.15)で前月比88%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第10週(03月04日～03月10日)

疾病名		第09週	第10週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	844	845	179	87	206	64	20	125	10	107	47
	定点当り	14.55	14.57	11.19	8.70	29.43	12.80	5.00	20.83	5.00	17.83	23.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	363	401	68	63	37	47	42	49	31	46	18
	定点当り	6.26	6.91	4.25	6.30	5.29	9.40	10.50	8.17	15.50	7.67	9.00
RSウイルス感染症	報告数	5	6	4	1						1	
	定点当り	0.14	0.17	0.40	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	68	67	18	4	9	17	2	5	2	6	4
	定点当り	1.89	1.86	1.80	0.67	2.25	5.67	0.67	1.25	2.00	1.50	4.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	160	200	73	38	36	17	9	10	2	11	4
	定点当り	4.44	5.56	7.30	6.33	9.00	5.67	3.00	2.50	2.00	2.75	4.00
感染性胃腸炎	報告数	298	300	71	62	9	60	38	26	1	24	9
	定点当り	8.28	8.33	7.10	10.33	2.25	20.00	12.67	6.50	1.00	6.00	9.00
水痘	報告数	1	3	2			1					
	定点当り	0.03	0.08	0.20	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	18	15	6		6	1					2
	定点当り	0.50	0.42	0.60	0.00	1.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	14	8	3		2	1				
	定点当り	0.44	0.39	0.80	0.50	0.00	0.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		3	1			2					
	定点当り	0.00	0.08	0.10	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	8	7	1							
	定点当り	1.67	1.33	2.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～10週 保健所受理分)

2類感染症	結核	16例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	13例
				レジオネラ症
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	梅毒	34例(2)		侵襲性肺炎球菌感染症

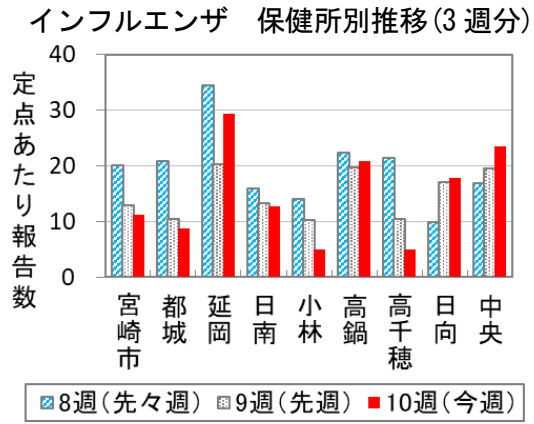
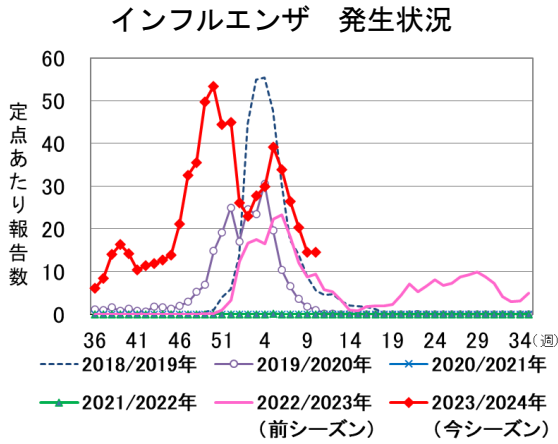
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第10週、全国第9週（再掲）》

□ 県内第10週インフルエンザ発生動向

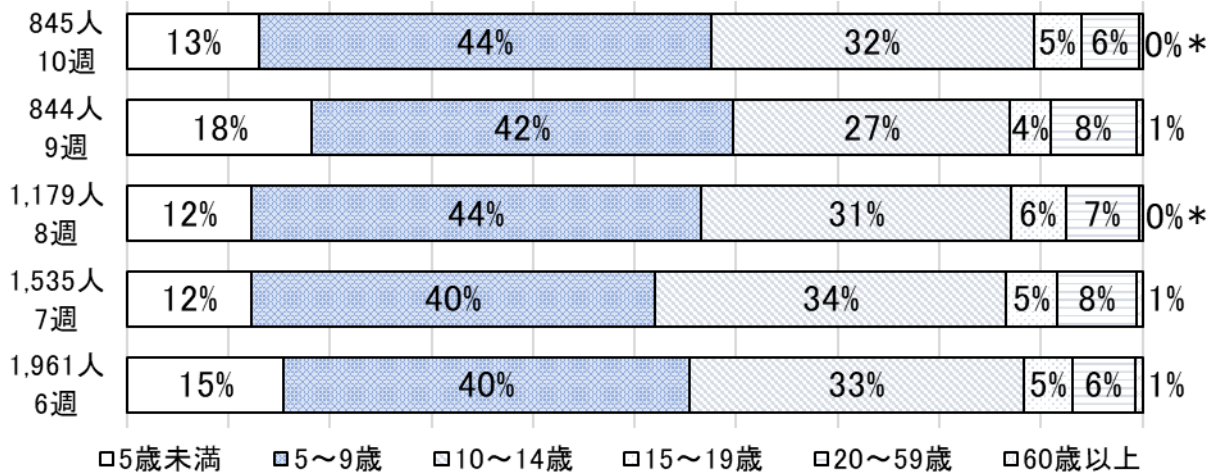
3月4日～3月10日までの1週間で845人(14.6)の報告があった。前週比100%と横ばいで、例年同時期の定点あたり平均値*(3.1)の約4.8倍であった。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

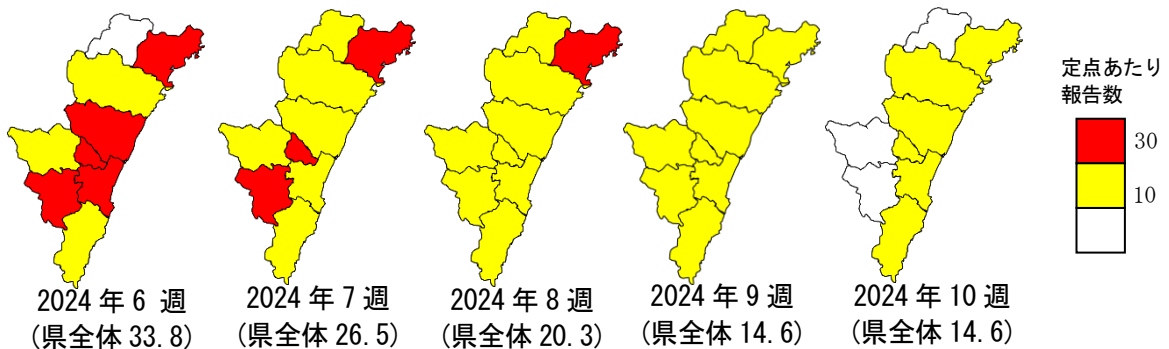


年齢群別割合の推移(2024年第6週～第10週)

* 60歳以上は0.5%未満



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第6週～第10週



□ 全国第9週インフルエンザ発生動向

2月26日～3月3日までの1週間で68,883人(14.0)の報告があった。前週比83%と減少し、北海道(27.4)、石川県(24.9)、山形県(20.5)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の13%、5-9歳が40%、10-14歳が29%、15-19歳が6%、20-59歳が11%、60歳以上が1%であった。